

かけはし

2021
Vol.89
November



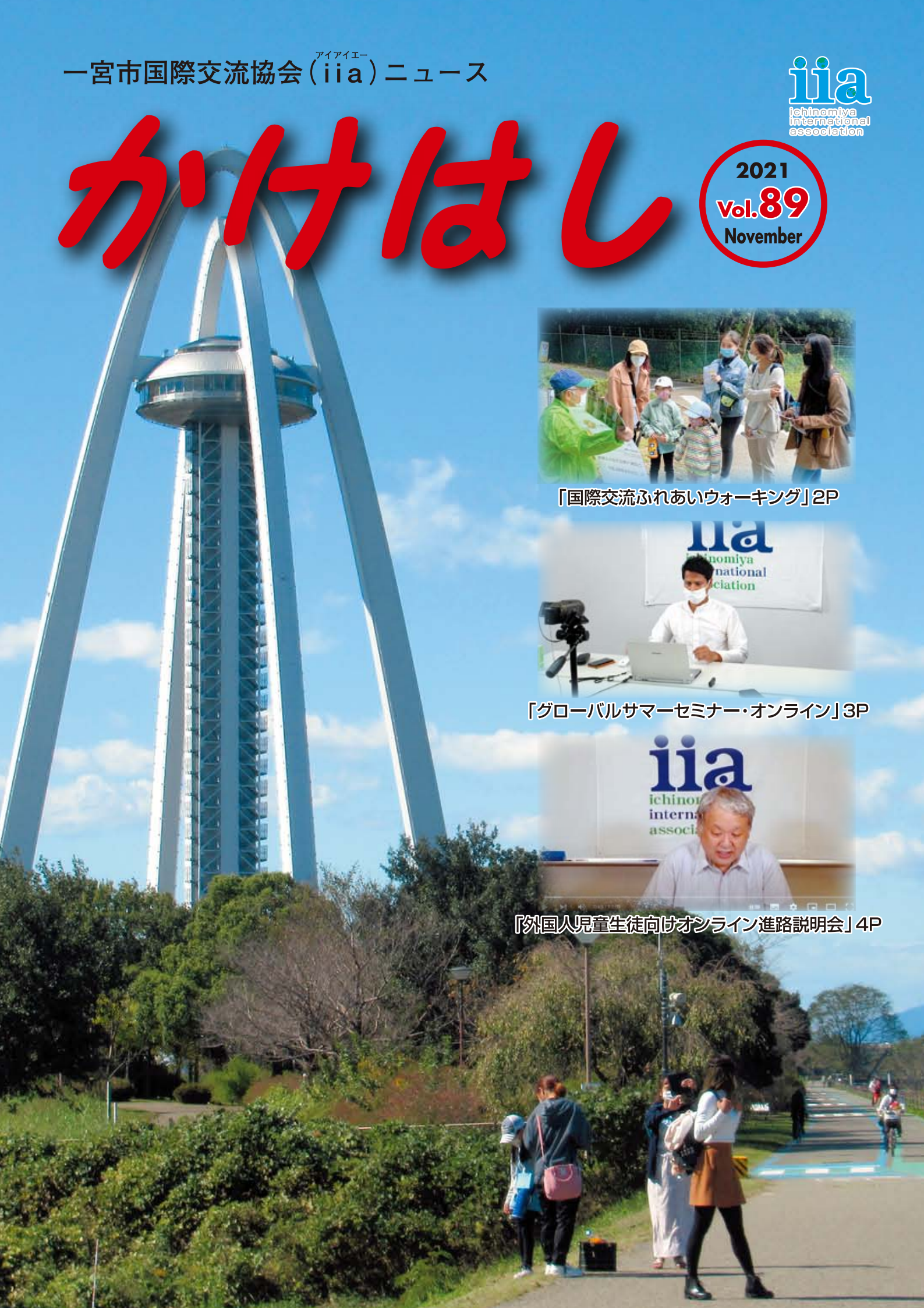
「国際交流ふれあいウォーキング」2P



「グローバルサマーセミナー・オンライン」3P



「外国人児童生徒向けオンライン進路説明会」4P





国際交流ふれあいウォーキング

大野極楽寺公園 10.23



今年度の国際交流協会の事業は、昨年度同様ほぼオンラインで実施してきました。10月から緊急事態宣言が解除されたことにより、国際交流ふれあいウォーキングは待ちに待った行事の再開となりました。

参加者は、抽選で選ばれた市民20名と外国人19名、ボランティア7名です。当日は少し風が強かったものの日差しもあり、戸外での活動には申し分のない日でした。市民と外国人が数人のグループとなって、おしゃべりしながら約4kmのコースを回りました。途中数か所のチェックポイント



で待機していたボランティアがクイズを出し、協力して答えては先に進みました。参加者は自己紹介から始まり、お互いの文化について話した

り、記念写真の撮影をしたりしながら徐々に打ち解けていきました。ゴールしてからも会話が盛り上がって



て、おしゃべりが尽きないようでした。留学生の方たちにとっては日本語の日常会話に触れる良い機会になったと思いますし、市民やボランティアの方からは「対面で人と交流する機会が持てたことがうれしかった」という声がありました。コロナ以前では当たり前だったことがこんなにも喜びに繋がることだったとは、発見でした。あらためて、外国人日本人を問わず人と交流するときの対面の意味や大切さを感じました。この先、再びコロナ感染が広がり行事が中止に追い込まれるようなことにならないことを切に願います。

(パン・ド・ミー)

東京2020パラリンピック アメリカ合衆国女子シッティングバレーボール代表チーム オンライン優勝報告会 ZOOM会議 9.21

この夏開催された東京2020パラリンピックにおいて、一宮市では、アメリカ合衆国女子シッティングバレーボールチームの事前合宿・事後交流会が予定されていましたが、すべて新型コロナのため、中止になってしまいました。それでも一宮市からは、応援メッセージビデオや一宮聾学校が作成した応援幕、アパホテルから千羽鶴などを送り、選手たちを励ましました。そして、パラリンピックで、アメリカ合衆国チームは見事優勝！リモートによる優勝報告会が開催されました。

一宮聾学校、アパホテル、一宮市役所、アメリカなど各地をむすび、日本側からのお祝いの言葉、選手たちからのお礼のメッセージの後は、質問コーナーとなりました。一宮聾学校の児童・生徒やアパホテルの人たちから、シッティングバレーボールを初めてやった時どこが難しいと思いましたか？とか、日本の印象は？といった質問がいろいろと出されました。選手たちからは、シッティングバレーボールは、手を使って移動し、ボールも

手で扱うので、素早く移動しないと顔にボールが当たったりするんですと、ユーモアを交えた回答や、日本ではとても親切にしてもらってうれしかった、ぜひまた訪れたいと、うれしい回答が返ってきました。

このパラリンピックを機に、一宮市はアメリカのホストタウンに登録されました。今回のパラリンピックだけでなく、これからも引き続き様々な交流を続けていくことでしょう。(ヒノ)



グローバルサマーセミナー・オンライン

小中学校の夏休み期間に合わせて、協会YouTubeチャンネルで国際理解セミナーを公開しました。
YouTube配信 7.21~8.31

アミット先生の「インド式算数を知ろう」

あら不思議！

簡単？

でも…?!

アミットさんのインド式算数!!

私は前からインド式算数って何？と思っていました。今回ワクワクしながらアミットさんのインド式算数をYouTubeで見えてしまいました。

その前にインドについて少し紹介がありました。成田空港からニューデリーまで直行便で8時間位かかるそうです。言語はヒンディー語、英語のほか21くらいの言葉があります。あいさつは「ナマステ」で一日中OKです。食文化はスパイスカレー、ナンとチャイ（ミルクティー）の三食カレーです。インドは動物を大事にする国で、象、猿、蛇、牛は神様です。牛は最も大切にされています。

インドでは、算数は普通に使っていて、お爺さんやお婆さんから習います。一番簡単な物から、事例を使って説明されました。

まず、11との掛け算です。

例1 【ステップ1】 | 【ステップ2】

$$\begin{array}{r|l} 32 \times 11 \text{ は、} & 3 \quad 2 \\ \hline & \begin{array}{c} \swarrow \quad \searrow \\ 3 \quad 2 \end{array} \end{array} \quad \begin{array}{r|l} & 3 + 2 \\ \hline & \begin{array}{c} \swarrow \quad \searrow \\ 3 \quad \textcircled{5} \quad 2 = 352 \end{array} \end{array}$$

ステップ1の3と2の真ん中を空けて、下に降ろす。ステップ2で3と2を足して5にすると、その数字を真ん中の空いた所に入れます。それが答えです。10秒もかからずに答えがでます。中の数字が10以上になるとどうしますか？

例2 【ステップ1】 | 【ステップ2】

$$\begin{array}{r|l} 75 \times 11 \text{ は、} & 7 \quad 5 \\ \hline & \begin{array}{c} \swarrow \quad \searrow \\ 7 \quad 5 \end{array} \end{array} \quad \begin{array}{r|l} & 7 + 5 \\ \hline & \begin{array}{c} \swarrow \quad \searrow \\ 8 \quad \textcircled{2} \quad 5 = 825 \end{array} \end{array}$$

※12の1だけ7に足し8とする。
2は真ん中へ入れる

まだまだ事例はありますが、もっと知りたい方は、5ページのiia informationをご覧ください。YouTubeで見ることができます。アミットさんも見れますよ。
(みかん)

ベトナムの食文化を知ろう！

グローバルサマーセミナー・オンラインのビデオ収録を取材しました。ベトナム文化紹介として、フィ・トゥイ・ティエンさんを講師としてお招きしました。ティエンさんはベトナムのハノイからの留学生で、愛知学院大学商学部4年生です。また、NIC（名古屋国際センター）地球市民教室の講師もやってみえます。日本滞在歴は5年で、日本語も流暢で笑顔がとてもチャーミングでした。

今回のビデオ収録は市役所本庁舎で行いました。テーマは「ベトナムの食文化を知ろう！」。まずは自己紹介から始まりベトナムについての簡単な紹介。その後ベトナムの祝日である①テト（旧正月）②寒食節（旧暦3月3日）③中秋節（旧暦8月15日）に食べる伝統料理について、料理名・



食材・料理方法・味のイメージなどを写真と共に説明されました。最初は緊張の面持ちだったのですが、自然と表情も緩やかになり大変スムーズに

収録が終了しました。

ティエンさんがNICの講師になった理由は、日本文化をより理解することや他の国とのコミュニケーションを深めるためとのことでした。また日本で仕事をするために目下就活中だそうです。日本の好きな点は時間やルールを守ることや責任感が強いことで、嫌いな点は冷たい（特に名古屋は）ことだそうです。しかし、石川県に交流に行ったときはすごく暖かいと感じたそうです。

ティエンさんは当日初めて一宮を訪れたのですが、市役所で1時間程度の準備・収録が終わった後、すぐ名古屋へ帰る予定でした。しかしこのままでは一宮も冷たいと思われないかと思い、記者が駅へ送る途中で真清田神社を案内してきました。神社もですが、門の前にある太鼓橋や七夕飾りにすごく興味を示されていました。一宮も暖かかったと思って頂けたら幸いです。

(katsu)



外国人児童生徒向けオンライン進路説明会

地域在住の小学5年生から中学生と保護者向け YouTube配信 8.25～9.30

一宮市国際交流協会は、外国籍の生徒がどのようにすれば高校進学が出来るかを知るための説明会を、コロナ禍の折、ユーチューブで3人の立場から発信しました。この説明会には、英語、中国語、タガログ語での字幕説明も付いています。



①日本語ひろばジュニアの加藤さんは、愛知県の外国籍の生徒の進学率は20%（日本人98%）と低いことを危惧されておられます。高校に入学し卒業すると、専門学校・大学への進学ができ、国家試験を受験することもできて仕事を選択する幅が広がるので、中学卒業後には高校に進んで欲しいとお話されました。その為の生徒個人の心得と親の心得、日本での高校進学のシステムを、公立私立、全日制・定時制・通信制について幅広く説明されました。

②県立一宮高校夜間定時制の久野教諭からは、入学試験が3月中に2回あり、定員は40人、定時制の特徴である15歳～幅広い年齢層の生徒が学び、毎日4時限の授業を受け、楽しい修学旅行・体育祭・文化祭等の行事もあることから年間の授業料まで、詳細な説明がありました。そして、全ての生徒が意欲的に学び、笑顔で卒業出来るように学習指導を行っています、と力強い言葉がありました。

そして、高校生活をやり抜く強い意志を持って向かって行って欲しいとの思いを語られました。

③日本語ひろばで学び、高校生へ進学したフィリピン出身のカイ・ラビンさんの体験談を聞かせてもらいました。言葉が通じない日本への引っ越し後の経験談と、親から言われた「自分を助けられる人は自分でしかない」との言葉の奥にある意味、「他人の助けはもらえない」と助けを否定するものでなく「自分から一歩を踏み出すこと」と感じたことなどを紹介し、仲間にエールを送っていました。

（佐野）

ミニ・フォトサロン

コロナ禍の国際交流として、色々な事業をオンラインで実施しました。その一部を写真で紹介します。

7月16日

一宮七夕まつり「オンライン市民ステージ」

一宮七夕まつりのオンライン市民ステージに出演し、友好都市トレビーズの紹介やイタリア音楽の演奏をしました。



ケーブルテレビICCの生放送とYouTubeで動画公開が行われました。（公開は終了しました）

8月5日

「名古屋大学夏季セミナーオンラインホームビジット」

名古屋大学のオンラインセミナーの一環で、互いの文化などについて紹介しあう交流をしました。



ZOOMを利用し、それぞれの国から学生さんが参加してくれました。



おとなりさん



アーサー・アルヴェス・マルサロくんを紹介します。2020年11月に愛知県立木曾川高校に留学のためやってきたアーサーくんは、ブラジルの北東部の港湾都市レンフェ出身、2002年生まれの18歳です。コロナ禍での留学のため、成田空港に到着後留学生仲間と2週間をホテルで過ごしてから、無事一宮のホストファミリーの家に移動することができました。

ホストファミリーには元気な男の子が3人いて、大きな優しいお兄さんがやってきて大喜びでした。アーサーくんにはお兄さんがいるのですが、日本に来て、小さな弟たちをよくかわいがる良いお兄さんになりました。アーサーくんは、野菜が苦手ですが、ホストマザーの料理は美味しくてたくさん食べ、一番好きな日本食はお寿司、特にサーモンとマグロが好きで、生の魚も食べられると教えてくれました。ホストファミリーとは、京都への日帰り旅行やスノーボードにも行ったそうです。ブラジルには雪が降りませんが、アメリカでスノーボードをやったことがあるから、日本でも上手に滑れたと話してくれました。

木曾川高校での9ヶ月の留学期間中は、国語以外、ほとんど全ての授業を受けました。日本語もかなりうまくなったので、7月には日本語能力試験のN3にも挑戦しました。試験の結果の通知は帰国後でしたが、合格したと連絡をもらいました。バレー部にも所属して、友達もたくさんできて、楽しい高校

生活を送ることができました。木曾川高校には、日本語パートナーという在学生の保護者を中心にしたボランティアがあります。そこで、和太鼓、剣道、木工時計作り、御朱印帳作り、着物を着たり、和菓子を作ったり、藍染めハンカチ作りをしたり、日本の文化にもたくさん触れることができました。アーサーくんからは、ブラジル料理の「タピオカ」を教えてもらいました。タピオカは、タピオカ粉（キャッサバ粉）で作るクレープのようなものです。材料の粉は、日本でもブームになったタピオカと同じ原料、キャッサバいもを、さらに細かく粉状に砕いたものです。タピオカ粉をフライパンの上に薄く伸ばして火にかけて作ります。チーズやハムを入れたり、ジャムやチョコレートをかけたりして、朝食にも、おやつにもなる食べ物だそうで、初めて食べました。ちょっともちもちした食感が独特で、おいしかったです。ただ、タピオカは高カロリーなので、あまりたくさん食べない方がいいようです。

アーサーくんが一番の思い出は何かと聞いたところ、とにかく楽しかった、留学したこと全部が楽しかったからどれが一番だとは言えないそうです。

彼は、ブラジルの天文学の大会で金メダルを取ったほど優秀で、帰国後は、ブラジルで一番優秀なサンパウロ大学に進学したい、エンジニアになってロボットを作る人になりたい、日本の大学にも留学して、電子工学を学びたいという将来の夢もしっかり持っています。

たくさん笑顔くれたアーサーくんが帰国してしまったのが寂しいです。でも、また日本でさらに成長したアーサーくんに会えるかな。

(ゆづ)

(ゆづ)

iiia information

グローバルサマーセミナー・オンライン ~再公開中です~

夏休み期間にあわせて、国際理解セミナーの動画を協会YouTubeチャンネルに投稿した「グローバルサマーセミナー・オンライン」。好評につき一部動画を再公開中です!是非ご覧ください。

再公開動画：①.アミット先生の「インド式算数を知ろう」②.英語で楽しむ「オカチリマジック」③.フランス人落語パフォーマーによる爆笑英語落語!

視聴方法：下のQRを読み取ってください。再生リストが開きます。



©Cyril Coppini

*iiiaでは、協会事業を支える国際交流基金への寄付を募集しています。また、一宮市の国際交流の中心となって活躍いただく親善ボランティアも随時募集しています。詳しくはiiia事務局までお問い合わせください。

iiia Facebookページ

イベントのお知らせや、外国人のみなさんに役立つ情報を多言語で発信しています。

Multilingual posts about event notices and helpful information for foreign residents.



iiia公式YouTubeチャンネルを作成しました

イベントやセミナーの様子などを配信しています。是非チャンネル登録してください。





世界一高額な紙幣

ジェームス・ハナ

私はオーストラリア出身ですが、いま一宮で英会話を教えています。海外旅行が大好きで、これまで世界の70か国以上に行きました。なかでも、アフリカ大陸南部のジンバブエ共和国は好きな国なので、数回訪れました。

ジンバブエは、亜熱帯地域にありますが、国土の標高が高い内陸国なので、気候は温暖で暮らしやすい所です。日本と比べると国土は同じくらいで人口は約10分の1です。首都のハラレは、あちこちに高層ビルディングが建ち並び、緑豊かな街路樹の並んだ幅の広い道路が走る美しい街です。国内には、野生動物が暮らす自然が多く残っていて、サファリなどが見どころの国立公園などへ、たくさんの外国人が観光に訪れています。もっとも有名な観光地は、北部国境に沿って流れるザンベジ川の水を落とす世界3大滝のひとつ、ビクトリアの滝でしょう。

かつてローデシアと呼ばれた白人支配の国だったころは、豊富な鉱物資源とアフリカの穀倉と言われた豊かな穀物と葉タバコの生産で国の経済は潤っていました。1980年以降、経済運営の混乱により、国民は近年のハイパー・インフレに苦しんできました。そのインフレのために、当時のジンバブエでは、100兆ジンバブエドルというとんでもない高額の紙幣が発行されていました。それは、世界最高額の紙幣でしたが、その価値は日本の500円位でした。私は、支払いにクレジットカードを使っていて、ローカルな店でほとんど買い

物をしなかったのですが、その高額紙幣をお土産にしたいと思っていました。残念ながら、その機会はありませんでした。

ジンバブエを去る日に、ハラレ国際空港でお土産店をぶらついて、何か変わったものがないか探しましたが、欲しいものがなかったので帰国便の機内で読もうと、車の雑誌を買いました。税関とセキュリティを通り抜け飛行機に搭乗して、機内でその雑誌を読もうとしたとき、幸運の女神が舞い降りてきました。なんと、ページの間にあの高額紙幣が1枚挟まっていたのです。

ジンバブエは現地語で「石の家」という意味で、あぶなっかしく積み重なった大きな岩(バランスロック)を各地で見ることができます。高額紙幣には、互いにバランスよく重なった3個の巨岩がデザインされています。その岩はハラレ郊外にあり、チレンバ・バランスロックと呼ばれています。国の中央銀行が、開発と壊れやすい自然の保護との均衡の重要性を意図してデザインしたと言われています。この紙幣はジンバブエではもう発行されていません。

私はいま、その紙幣を額に入れて大切に飾っています。最近になって知ったのですが、日本のオンラインショップではその紙幣が1枚1万円位で売られているようです。

海外旅行は楽しくて、いろいろな経験ができるので大好きです。

編集後記

東京オリンピック2020で、新しい競技のスケートボードを観戦しました。十代の選手が中心で、華麗な回転技や空中技に一瞬も目が離せないのが魅力です。女子パーク競技で果敢に逆転金メダルに挑戦し、最後の着地に失敗した涙の岡本碧優選手を、すぐに外国人スケーターたちが駆け寄りて担ぎ上げチャレンジを称えました。このすがすがしい若人たちの光景に、大きな感動をもらい、未来はきっと明るいと思いました。(ドリアン)

発行：一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市役所本庁舎9階 商工観光課内)

ご意見・ご感想お待ちしております 【TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp】

当協会に関する情報はウェブサイト・Facebookページもご覧ください

【WEB:<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/> Facebook:<https://www.facebook.com/iia138>】

*この「かけはし」は、協会ボランティアにより取材・編集されています。

みなさんも国際交流協会親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。